



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月24日

上場取引所 東 大

上場会社名 蝶理株式会社

コード番号 8014 URL <http://www.chori.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山崎 修二

問合せ先責任者 (役職名) 人事総務部長

(氏名) 白神 聡

TEL 03-3665-2031

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	110,901	4.7	3,230	28.6	3,301	28.8	1,960	△47.9
23年3月期第2四半期	105,919	19.2	2,512	4.8	2,562	5.1	3,765	105.9

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 1,616百万円 (△50.0%) 23年3月期第2四半期 3,236百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.22	7.79
23年3月期第2四半期	15.80	14.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	61,552	26,917	43.5
23年3月期	64,390	25,826	39.8

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 26,746百万円 23年3月期 25,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	3.6	6,000	15.9	6,000	12.3	3,520	△34.5	14.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	238,691,442 株	23年3月期	238,691,442 株
24年3月期2Q	325,682 株	23年3月期	322,295 株
24年3月期2Q	238,367,458 株	23年3月期2Q	238,399,889 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想における「1株当たり当期純利益」は、平成23年8月1日より取得請求が可能となっています第三回優先株式及び第四回優先株式の転換が、本決算短信開示日(平成23年10月24日)以降に転換されたと仮定し、取得請求に伴う普通株式増加数を考慮した普通株式の期中平均株式数に基づき算定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第三回優先株式	—	—	—	12.91	12.91
第四回優先株式	—	—	—	11.66	11.66
24年3月期					
第三回優先株式	—	—			
第四回優先株式	—	—			
24年3月期(予想)					
第三回優先株式			—	12.35	12.35
第四回優先株式			—	11.10	11.10

（注）第三回優先株式及び第四回優先株式の転換が平成23年8月1日より取得請求が可能となっています。普通株式への転換の状況により24年3月期（予想）における第三回優先株式及び第四回優先株式の配当金総額が変動する場合があります。なお、ここで言う転換とは、取得請求権付種類株式であるこれらの優先株式の取得と引換えに普通株式を交付することを表しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

東日本大震災発生に伴う生産活動の停滞から、一部サプライチェーンの復旧により持ち直しの兆しも見られたものの、昨今の欧州通貨危機に起因する世界経済の後退懸念や急激な円高の定着により、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、重点施策である開発推進や機能のある取引へのシフトにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比4.7%増の1,109億1百万円、営業利益は、前年同期比28.6%増の32億30百万円、経常利益は、前年同期比28.8%増の33億1百万円となりました。但し、四半期純利益は、前年同期は連結子会社の解散に伴い、繰延税金資産を計上したことにより大幅増加しましたが、当第2四半期連結累計期間は税負担の平準化により前年同期比47.9%減の19億60百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 繊維事業

当セグメントにおきましては、自動車のサプライチェーンの急回復等に伴い産業資材分野が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期比7.2%増の535億20百万円となり、セグメント利益（営業利益）は増収効果に加え益率の改善および経費効率の大幅改善により前年同期比59.2%増の17億58百万円となりました。

② 化学品事業

当セグメントにおきましては、堅調な中国事業に支えられ、売上高は前年同期比1.2%増の326億73百万円となり、セグメント利益（営業利益）は高機能商材の取扱拡大等による益率向上により、前年同期比8.3%増の12億64百万円となりました。

③ 機械事業

当セグメントにおきましては、中南米向け事業が堅調に推移し、売上高は前年同期比4.3%増の242億81百万円となりましたが、セグメント利益（営業利益）は競合激化により、前年同期比1.8%減の1億66百万円となりました。

④ その他

当セグメントにおきましては、前年同期に連結子会社の1社を解散したことにより、売上高は前年同期比3.2%減の4億26百万円となり、セグメント利益（営業利益）は前年同期比41.4%減の41百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、615億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億38百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が10億14百万円減少、関係会社預け金が20億円減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、346億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億28百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が49億12百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、269億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億91百万円増加しました。これは主に四半期純利益の計上により19億60百万円増加、配当の支払により5億6百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前年同期比14億3百万円減の62億36百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は16億47百万円（前年同期は資金の減少27億44百万円）となりました。主に仕入債務の減少額49億56百万円、税金等調整前四半期純利益32億79百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は7億74百万円（前年同期は資金の減少1億71百万円）となりました。主に出資金の払込による支出5億27百万円、有形固定資産の取得による支出79百万円、関係会社出資金の払込による支出72百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は1億82百万円（前年同期は資金の減少4億44百万円）となりました。主に配当金の支払額5億3百万円、短期借入金の増加額3億23百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

下期におけるわが国経済の先行きは、依然として不透明であり、当社及びグループ企業を取り巻く事業環境も引き続き厳しい状況であることが予想されますが、売上高につきましては、世界的な経済環境の不透明感及び当社を取巻く事業環境の厳しさを勘案し、前回予想を据え置いておりますが、営業利益・経常利益及び当期純利益につきましては、全般的に採算性の向上と経費削減の推進により収益構造を改善した結果、前回予想から増加の見込みとなりましたので、平成23年7月25日に公表しました平成24年3月期の連結業績予想を変更しております。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,906	5,322
関係会社預け金	3,000	1,000
受取手形及び売掛金	35,189	34,175
商品及び製品	9,448	10,459
仕掛品	57	89
原材料及び貯蔵品	16	40
未着商品	168	256
繰延税金資産	786	473
その他	3,672	2,934
貸倒引当金	△74	△58
流動資産合計	58,171	54,693
固定資産		
有形固定資産	534	552
無形固定資産	86	72
投資その他の資産	5,598	6,234
固定資産合計	6,219	6,859
資産合計	64,390	61,552
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,883	26,971
短期借入金	271	595
未払法人税等	204	861
賞与引当金	503	527
返品調整引当金	1	2
関係会社整理損失引当金	42	42
その他	4,132	4,119
流動負債合計	37,038	33,120
固定負債		
繰延税金負債	3	3
退職給付引当金	1,168	1,170
役員退職慰労引当金	116	136
負ののれん	236	204
固定負債合計	1,524	1,514
負債合計	38,563	34,635

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,700	1,700
利益剰余金	19,373	20,823
自己株式	△43	△43
株主資本合計	27,830	29,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△344	△564
繰延ヘッジ損益	56	△97
為替換算調整勘定	△1,896	△1,870
その他の包括利益累計額合計	△2,184	△2,532
少数株主持分	181	171
純資産合計	25,826	26,917
負債純資産合計	64,390	61,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	105,919	110,901
売上原価	96,686	100,779
売上総利益	9,233	10,122
販売費及び一般管理費	6,720	6,892
営業利益	2,512	3,230
営業外収益		
受取利息	56	42
受取配当金	81	80
持分法による投資利益	3	6
負ののれん償却額	31	31
債務勘定整理益	53	63
雑収入	95	102
営業外収益合計	321	327
営業外費用		
支払利息	45	61
手形売却損	43	53
為替差損	67	62
雑支出	114	78
営業外費用合計	270	255
経常利益	2,562	3,301
特別利益		
投資有価証券売却益	5	4
負ののれん発生益	—	1
貸倒引当金戻入額	49	—
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	55	6
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	18
投資有価証券評価損	73	3
固定資産処分損	5	2
関係会社株式売却損	33	—
その他	—	4
特別損失合計	112	28
税金等調整前四半期純利益	2,506	3,279
法人税、住民税及び事業税	133	893
法人税等調整額	△1,395	420
法人税等合計	△1,262	1,314
少数株主損益調整前四半期純利益	3,768	1,964
少数株主利益	3	4
四半期純利益	3,765	1,960

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,768	1,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	△219
繰延ヘッジ損益	△169	△154
為替換算調整勘定	△187	9
持分法適用会社に対する持分相当額	△44	16
その他の包括利益合計	△532	△348
四半期包括利益	3,236	1,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,235	1,611
少数株主に係る四半期包括利益	0	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,506	3,279
減価償却費	92	91
負ののれん償却額	△31	△31
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12	1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△19	19
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△111	△26
受取利息及び受取配当金	△137	△123
支払利息	45	61
為替差損益(△は益)	115	△3
持分法による投資損益(△は益)	△3	△6
投資有価証券売却損益(△は益)	△5	△4
投資有価証券評価損益(△は益)	73	3
関係会社株式売却損益(△は益)	33	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,805	964
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,568	△1,150
仕入債務の増減額(△は減少)	1,129	△4,956
未収消費税等の増減額(△は増加)	△279	211
その他の資産の増減額(△は増加)	322	△117
その他の負債の増減額(△は減少)	△125	△233
その他	△156	162
小計	△1,913	△1,860
利息及び配当金の受取額	149	136
利息の支払額	△45	△61
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△935	137
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,744	△1,647
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50	△79
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△22	△5
投資有価証券の取得による支出	△90	△28
投資有価証券の売却による収入	18	—
出資金の払込による支出	—	△527
関係会社出資金の払込による支出	—	△72
貸付けによる支出	△0	△15
貸付金の回収による収入	9	9
その他	△38	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171	△774

（単位：百万円）

	前第 2 四半期連結累計期間 （自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30 日）	当第 2 四半期連結累計期間 （自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30 日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	63	323
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△505	△503
その他	△1	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△444	△182
現金及び現金同等物に係る換算差額	△109	3
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,469	△2,601
現金及び現金同等物の期首残高	11,103	8,837
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,639	6,236

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	49,906	32,294	23,278	105,478	440	105,919	—	105,919
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	493	493	△493	—
計	49,906	32,294	23,278	105,478	933	106,412	△493	105,919
セグメント利益	1,104	1,167	169	2,441	70	2,512	—	2,512

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・通信機器、不動産の取扱及び各種役務提供等を含んでおります。

2 報告セグメント及びその他の事業セグメントのセグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,520	32,673	24,281	110,475	426	110,901	—	110,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	263	263	△263	—
計	53,520	32,673	24,281	110,475	690	111,165	△263	110,901
セグメント利益	1,758	1,264	166	3,188	41	3,230	—	3,230

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・通信機器、不動産の取扱及び各種役務提供等を含んでおります。

2 報告セグメント及びその他の事業セグメントのセグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。